

## 「出題の意図」

選抜区分	2021年度（選抜区分：学校推薦型選抜・全国推薦） 外国語学部 英米学科（科目名：英語による面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><b>【面接への姿勢】</b></p> <p>近年、面接試験における学生のパフォーマンスはより良くなっている。多くの学生にとって面接は難しいものであり、初めてのテスト形式の口頭面接であるかもしれないが、私たち面接官は受験生にリラックスしてストレスを感じないようにしてもらいたい。学生がストレスを感じると、通常のレベルでのパフォーマンスができなくなることがある。</p> <p><b>【求める能力】</b></p> <p>面接ではネイティブスピーカーレベルの習熟度での会話を期待しているのではない。会話の中で文法的なミスが出る程度は構わないが、それよりも求められるのは、論理的に考え、自分の考えを英語で表現できるということである。話す相手（英語のネイティブスピーカー3人）のことを考えながら、ネイティブに理解できるように自分の発言を調整できることが求められる。</p> <p><b>【会話表現事例】</b></p> <p>例えばお正月に何をするかという質問をされた場合、ネイティブスピーカーに「お年玉」や「おせち料理」の言葉をそのまま使っても理解されない。わかりやすく表現し伝える能力が必要となる。</p> <p><b>【留意点】</b></p> <p>日本のメディアでの外国人の扱い方を鵜呑みにして外国人はこうだと決めつける発言をすることは避ける。例えば以前、日本で開催されるオリンピックについてどう思うかという質問をしたところ、ほとんどの受験者が「外国人は汚い」「外から問題を持ち込む」などと答えていた。これは、もちろん全ての外国人に当てはまることではないにも関わらず、「外国人」とひとくくりにしたネイティブスピーカーには不快感を与えることまで想像し言葉を選ぶ必要がある。</p> <p>広い視点で日本のニュースを常にとらえ、自分の生活に関わる問題を考え、それを英語でどのように表現できるかを考えてほしい。正確な語彙で詳細に議論できるようになることを期待しているわけではないが、時事問題に対する自分の気持ちを少しでも伝えられるようになることを期待する。</p>